川口町公民館報
公民館報
第46号
発行人 星野輝政
編集人 金子實
印刷所 山静堂印刷所

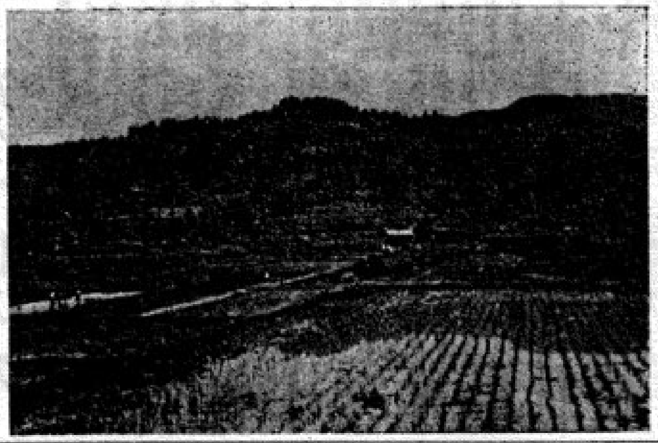
農業経営の合理化と安定をめざして
―上川地区土地改良事業すすむ

昭和三十二年度より農業経営の合理化と安定を目的として着手された上川地区土地改良事業も、昨年牛ケ島地区十三町歩の開田により、第一回目の収穫を得、本年は相川、武道窪地区六八町歩の開田事業が既に完了し、秋の収穫を目ざして田植えが始まった。

沖の島地区十五町歩の開田工事については、現在工事施行中で、六月中に工事を完了し、植付けする予定になっており、この沖の島地区の工事の完了で、総面積一三七町歩四ケ年に跨がる上川地区土地改良事業も完了するわけであるが、ではこの土地改良事業のあらましをのべてみよう。

この事業の計画地域は山間地であるため一戸当りの耕作面積が少なく、その上既成田の灌漑水は附近山脈の渓流水を利用するため、常に用水不足に悩み、畑地についても開田可能地でありながら用水を自然に求める事は全く不可能で、年々山林、原野に変換するのが多く、十分な土地利用が行われず、低位生産を続けている現況であった。

然るに積寒法の施行により国の補助金及び、農林漁業資金による長期借入りが出来る様になり、又最近の技術の進歩に伴い、高所に機械による揚水が可能となったので、用水源を信濃川に求め、相川、武道窪、牛ケ島に沖之島を加えた、総面積一三七町歩（既成田の用水補給三四町歩、畑及原野の開田一〇三町歩）の開田事業の計画となったものである。



事業は国の補助を受ける灌漑排水事業と、補助を受けない非補助開田区画整理事業に大別して施行しましたが、灌漑排水事業は、開田事業の基礎となる工事で、揚水機、電気設備、揚水機場、幹線用水路等からなり、地形の関係上高揚程ポンプ、サイフォン、水路橋等のある難しい工事である、特に第一号揚水機は、揚程七七米もあり、全国でも屈指の高揚程ポンプで、高圧四〇〇馬力電動機、口径三五〇粍渦巻ポンプを使用しているが、尚主要機械物は、揚水機五台、揚水機場三ケ所、幹線用水路二八三〇米で、事業費五八、三五万円である。

開田区画整理事業は、灌漑排水事業の進捗に伴つて、昭和三十三年度は牛ケ島地区三十四年度相川、武道窪地区、三十五年度沖之島地区を施行するもので、面積約一〇三町歩である。この内、牛ケ島、相川、武道窪地区は既に工事を完了し、沖之島地区が現在工事施行中である。

尚内訳は、牛ケ島地区面積一三町歩、事業費二五三万五千円、相川、武道窪地区六八町歩、事業費二五百万円、沖之島地区一五町歩、事業費四九七万円、会計金額三三五一万円である。

この上川地区土地改良事業に要した工事費は、灌漑排水事業と開田事業で、総額九〇八万六千円になり、この内国の補助金が二八二一万六千円で、自己資金が六二六四万四千円であるが、この自己資金の内、農林漁業資金として低利率の長期借入金が五千万円である。

以上大体の事業の概要でありますが、本事業施行による効果は、年々米一、四六一石の増収が見込まれ、これを一戸平均にすると、関係戸数三百戸として、（平均面積一戸当り三反として）二〇俵の増収となり、農業経営の安定に寄与するところ大である。

農業委員にはこんな人を 選挙は7月15日

七月十五日には農業委員の選挙が行われる予定です。農業委員会の構成は選挙による委員と推薦による委員からなっています。

川口町の場合は現在選挙による委員が十名、推薦による委員が四名となっていて、推薦の分野は、議会推薦一名、農協推薦一名、共済団体推薦二名となっています。条例の変更がなければ今回もこの定数で選挙が行なわれます。

今日の農業情勢下において、農業の近代化を図るとともに、これを推進するための農政を確立することは、農民を代表する農業委員に課せられた、もっとも主要な課題であります。

来る七月十五日の農業委員の選挙には、農業委員会の使命をよく認識し、真に農業、農民を代表するに足る見識と経験を有する適格な人材が選出されるよう心がけましょう。

(1)農業委員は農民の代弁者である。誰があなたのもっともよい代弁者であるかを考えよう。

(2)農業委員は町の農業を振興するための計画を樹て農民とともにその計画を推進する任務を持っている。あなたの農業をよくするために、誰が一番心配していてくれるか。

(3)農業委員は、農地法に基く仕事を引受けている。大事な農地問題を誰に任せたらよいか。

(4)農業委員には、つねに農民のことを考え、農民のためになるよう働いて貰わなければならない。従って農業委員は、個人の考えで動かずに、農民の心を心として活動して貰わねばならぬ。誰がそういう人であろうか。

(5)農業委員は農民の代表である。従って農業のことをよく知っていなければならないと同時に、世の中の動きや農政について知識がなくてはならない。また農民以外の人達のこともよく承知し、農業と他産業の関係を、農民の利益をそこねないように調整することが大切である。こういうことのできる人は誰だろうか。

(6)農業委員会は、委員によって構成される行政機関である。従って社会的な信頼と協調性がなくてはならないと同時に、責任感が強いことが必要である。

小高分校文部省の指定校に

去る六日文部省は本年度の辺地教育研究のため全国に四十三校を指定した。

本年度は特に複式学級で国語、算数、理科など同じ題材を使い、学年の能力段階に応じて、同時に全体を教える、いわゆる同単元学習指導の研究と、辺地学校における道徳教育、学校経営の三つに重点をおいている。国から一校に約二万円の研究費が出る。本県の研究指定校に小高分校が決まったわけがある。研究主題は次の通り。（複式学級理科同単元学習指導の研究）

"鉄道妨害に交通安全に御協力を"

国鉄は汽車を走らせて多くのお客さんや、大切な品物を間違いなくしかも早く目的地に輸送するよう、雨の日も風の日も日夜努力しております、その汽車を間違いなく無事に目的地まで走らせるよう皆さんからも次のことにつきお願いいたします。

一、線路上に石をおいて遊んだり、汽車に石をなげることはやめましょう。

農繁期になりますと田畑に連れられた子供さん達が、よく線路上に石をならべ又、汽車に向って石を投げたりして遊んでいる子供がありますが、たとえ石ころ一つでも汽車は脱線して、ひっくりかえることもあります。そうして大ぜいの人が死んだり、けがをしたりするのであります。もしこんな遊びをしている人があったら、お互いに注意し、よく教えてあげて下さい。

二、線路を歩くことは危険ですからやめましょう。

これから山へ行く人、川へ行く人、学校やたんぼの行き帰りに近道だといって線路を歩くことは非常に危険です。汽車が後から走ってくるのに気づかず接近してからようやく気づき、あわててよけそこなって列車にひかれて死んだり、けがをした人は数多くあります。このように危険な線路内には、立入らないで安全な道を必らず通りましょう。

三、線路の附近で遊ばないようにお互いに注意いたしましょう。

幼児がお母さんの眼をはなれ、線路のかたわらで遊んでいるのを、たまたま見うけますが、これは非常に危険です。汽車は一時間に七〇～八〇キロメートルの速さで走っておりますので非常の場合急ブレーキをかけても間にあわないことが多いのであります。

線路が直線で見透しのよいところでは機関士の注意力によってある程度の災禍を防止できますが、見透しの悪い場所も数多くあるのであります。子供が線路のそばで遊んでいると、機関士はいつ子供が線路内に入ってくるかとそればかり気にして遠く走れないのです。そのため汽車がおくれて乗っている人達にも迷惑をかけることになります。

四、踏切を通るときは、一旦とまって、左右をよく見てから通りましょう。

踏切で汽車と自動車又は人とが衝突して尊い人命が数多く失われていることは、皆さんも新聞やラジオで御承知のことと思います。汽車は常にものすごいスピードで走っておりますので、機関士が見つけてからでは間にあわないのです。踏切を通るときは、必らず一旦停って左右をよくみて、汽車のこないことを確かめてから通ることに習慣づけましょう。

越後川口駅長
長岡鉄道公安室長
越後川口線路分区長

国民年金（その一）

日本人の平均寿命は最近大変長くなりました。昭和十年は男四六、九才女四九、六才であったが、昭和三十三年には、男六五才女六九、六才になり、六十五才以上の老令人口のしめる割合は五、五三%になっております。国民年金はこのように長生した方や身体障害者、母子家庭の人たちにその所得を保障していくために、国民が力をあわせて保険料を拠出するとともに、国もみんなが出した保険料の二分の一を負担し、明るい安定した生活が出来るようにするための制度です。

◎どんな人が加入するか

強制的に加入しなければならない人

1 昭和三十六年四月一日現在において、日本国内に住んでいる二十才から五十才までの日本国民で、次の人を除いて全部国民年金の被保険者とならなければなりません。

2 加入できない人
次の人は加入することができません
(イ)来年四月一日で五十五才以上の人
(ロ)恩給、厚生年金保険、共済組合制度等に加入している人
(ハ)老令、退職、障害などの理由で年金を受けることができる人

3 任意加入のできる人
(イ)来年四月一日で五十才から五十五才までの人
(ロ)恩給、厚生年金、共済組合制度等に加入している人の配偶者
(ハ)昼間高校大学に在学している学生、生徒
(ニ)遺族年金を受けている人
(ホ)軍人、軍属関係の死亡による扶助料、遺族年金等を受けている人

◎国民年金はどんなとき、どんな年金を、どれだけもらえるか

1 老令年金
保険料を納めた期間が十年以上で、被保険者期間が二十五年以上の人は六十五才になると一二、〇〇〇円から四二、〇〇〇円までの年金を受けることができます（保険料を納めた期間が一年増すごとに年金は一、二〇〇円増加）

2 障害年金
被保険者が引続き三年以上保険料を納め病気になったり、けがをして疾病の状態になったとき、その疾病の程度と保険料納付期間に応じて二四、〇〇〇円から四八、〇〇〇円までの年金を受けられます。

3 母子年金
妻が引続き三年以上保険料を納め、万一夫が死亡して妻と十八才未満の子供がのこされたとき、妻の保険料納付期間に応じ一九、二〇〇円から二五、八〇〇円までの年金を母と子が受けられます。十八才未満の子供が二人以上いるときは、二人目の子供から四、八〇〇円づつ加算されます。

次号につづく

町税の負担割合はどうなっているか

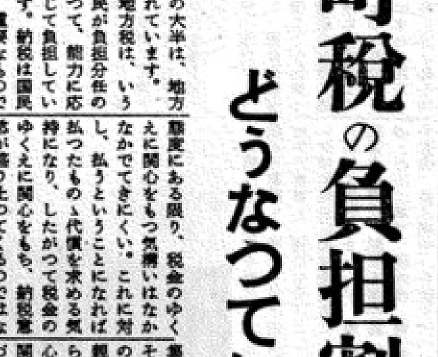
市町村財政の大半は、地方税でまかなわれています。そしてこの地方税は、いうまでもなく住民が負担分任の精神にしたがって、能力に応じ、受益に応じて負担しているのであります。納税は国民の義務であり、重要なものであることは、観念的に知っていても、たまたま「とられる」とか「とられてしまう」又「納める」とか「払う」というようにいろいろな言葉で表現されています。

払うということと、とられるということは大変なちがいであって一方はあくまでも自主的であるのに対し、一方はあくまでも受身だという根本的な相違であります。受身な態度にある限り、税金のゆくえに関心をもつ気持いはなかなかでてきにくい。これに対し、払うということになれば、払ったものゝ代償を求める気持になり、したがって税金のゆくえに関心をもち、納税意欲が盛り上ってくるのではなかろうか。ある国の例では、たとえば住民税を百円納めると役所費に何円学校のために何円、公園にどれ程合計百円というようにきわめて具体的に図表で示された解説書が同時に申告書に印刷されていたり、又国の担当大臣の演説を聞いただけで自分の納税額がわかるというように納税のPRにつとめているという。

とにかく税は住民が相寄集つて地方公共団体を組成しその公共目的を達成するためのいわば共益費用ですから、親しみにくいものにしてはならないのであって、大いに関心をもつようにすべきであり関心をもつようにするには先づPRを行い、そして納税者の理解と協力を得、お互いに税を「払う」という言葉を身につけたいものであります。これは国の昭和三十五年度の税務運営方針の第一に掲げられております。

次ぎに町の主要財源である住民税と固定資産税がどのような割合で負担されているかをグラフにあらわしてみました。

業種別負担額及び割合



このグラフによると給与所得者が全体の四七%を占めており、しかも一人当りの負担額も六、三九九円で一番多く次ぎが農業所得の三九%、営業所得の一四%の順になっています。但し、一人当りの負担額は農業より営業の方が多い。これらの原因は、いろいろあると思いますが、先づ給与所得の多い原因は、支払者からの報告によって所得が容易にはあくできることだと思います。又比較的規模の大きい営業者が法人組織に切り替えて、法人から給与の支払いを受けていることも一つの原因だと思います。したがってこの分だけ営業所得に対する住民税が少なくなるわけですが、これらの人は個人住民税のかわりに国へ納める法人税を基礎にした法人住民税を納めています。この昭和三十四年度の負担額は、総額が約一五万八千円で納税者二三人であり、一人当り七、一八二円になりますから、これを個人の営業所得に合算してみると総額に対する営業所得の占める割合は、一四%が一六%になり、一人当り負担額も四、二九二円が四、五八二円になります。

とにかく営業所得や農業所得は給与所得に比較して所得のはあくが困難であることと営業所得の場合青色申告の特典控除等いわゆる所得の算定方法が業種によって異ることにも若干問題があるように思います。

業種別負担額及び割合

このグラフによると、住民税とは逆に農業が全体の四四%を占め、第一位であり、次ぎが交付金及び納付金（国鉄や電々公社が納めるもの）の三一%県外法人（石油資源や電力会社）一一%営業八%給与六%の順になっています。

但し、人当りの負担額では営業が一番多いことになっています。

リレー随筆 幸せはここに
星野さと

佐渡へ〳〵と草木もなびく……歌に踊りにとすでに全国的に知られているあの佐渡おけさ、その佐渡の国鉄は私の出生地である。

今は観光客で賑わう佐渡も四十数年昔の佐渡は今の外国それにもまして遠く感じられた事と思う。

父が同島小学校の校長として奉職する関係上一家引揚げたのであるが、私が生まれて僅か三十日目一夜にして帰らぬ客となった。

祖母あり三男二女をかゝえて、若くして未亡人となった母の心中は「言葉につくしがたい」とは此の様な気持を言いあらわした言葉かもしれない。

然し父の愛情のかけらすら知らない私には、父との関係はあまりにも無意味のものだった。

「父さん無くとも子は育つ母さん無くとも子は育つ」すずめと遊んでいるうちになんなん七つの日は暮れる習いおぼえた歌を歌っていると母はなぜか寂しげに「その歌だけは歌わないでね」と言った言葉を当時は変な母くらいに思ってよく歌った事をおぼろげながら記憶している。

相当の覚悟はしていても頑固な祖母によく仕え、五人の子供をかゝえて、肉体的に、経済的にも大変な重荷だったろう。

無理もたゝってか祖母をのこし、子供の成長もみとどけずして世を去った母を宿命的な不運に生まれついたと片付けるにはあまりにも可愛そうな母であった。

その母を思う時ジーンと熱いものに打たれる。

母を知る人毎に「よく出来た人」「しっかりした人」と皆んなから惜しまれた母は、只一つの幸せだったろうか？

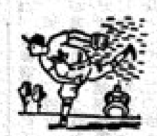
折にふれフット考えさせられる。生まれながらにして父の顔も知らず母の愛情にも十分ひたる事の出来なかった私には、人言って「不幸な子、気の毒な子」と言ったかも知れない。

然し父の忘れ形見の子として祖母 兄姉に見守れつゝさほど不自由も寂しさも知らずして通して来た事だけでも十分感謝し本当に幸せと思う。

「孝行をしたい時には親はなし」とか、だが私にとっては「孝行も出来ず不幸もなくて年がたち」と言った事の方がぴったりするかも知れない。せめて母の一番嫌いな歌を静かに口ずさんで親不孝とし、それによって亡き母を偲んで最善の孝行としている。

今は二人の子供の成長を楽しみつゝ何時か一度は生まれ故郷の佐渡、思い出の佐渡へと……只私一人の夢としてそっといだいている。

リレー随筆
次回は木沢小学校の山崎校長先生にお願いします。



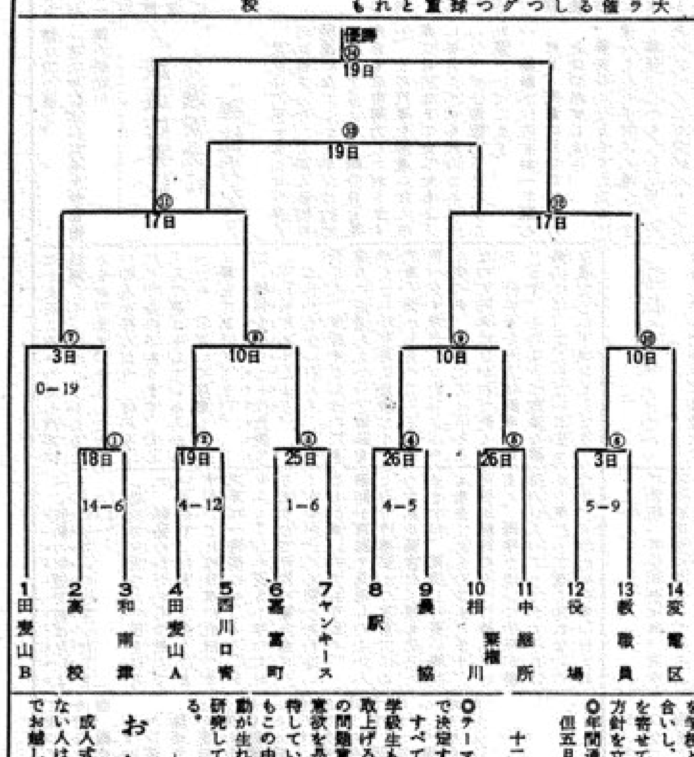
勝利の栄光わが胸に
―町民野球大会の幕ひらく―

町長杯をめぐって各チーム最善尽しての熱戦の火ぶたが去る十八日切っておとされた。

参加チームも昨年よりふえて十四チームとなり、それぞれ力を存分に発揮して町長杯をわが手中にと張り切っている。

昨年は七月四日からこの大会が始まったのであるがグラウンドの都合で六月から開催することになったわけである。

健全な社会体育の一端として年々このように盛大になってくるとやがて町民の総合グラウンドの設置が必要になってくる。まあこの町民野球大会が町の社会体育推進に重要な役割を果してくれることを期待し参加選手諸君の敗れて悔なしという健斗を祈るものである。



母親学級のあゆみ
川口小 岡村百合子

「あちらでも母親学級はあるのでしょうか。楽しく学習させていただきました。本当に心残りです。」一家転任する或る学級生の声である。経費をかけないで魅力的で且つ手ごたえのある母親学級を経営するにはどうしたらよいのか全職員が額をあつめ何回か相談し実施したのが効果あらしめたのだろうか。三十四年度の母親学級の内容は次の通りである。

一月二十七日 開会式
新しい学校教育
映画テレビについての諸問題
二月 六日 合奏村のかじや
輪唱、雪のおどり
二月一三日 学校衛生（生理について）
二月一三日 児童画の見方
児童の作文
三月 五日 ろう染
合奏 村のかじや
三月一二日 講演、躾について（星野周之氏）
四月一六日 子供の生活
教材映画の学習
お金の話
四月二三日 婦人と政治
座談会（反省）
閉会式

とかく政治は難しいものとして投げがちな婦人達に、校長先生が平易に解説して下さったので好評を博し、三五年度は毎回やってほしいという強い要望があり今尚続けている。又母親は子供の問題についての尽きぬ悩みを持っている。「躾」についての講演会をやり、二回に亘り講演をし更に三十五年度にまで持ちこされ話合いが継続されている。時には子供にかえり、未経験の学習をやって見たらというので取上げられたのが音楽である。器楽合奏を慣れない手つきで四苦八苦しながら「村のかじや」を演奏した。全くほゝ笑しい情景で、胸のこりがほぐれるようだった。ろう染も見栄や体裁をすてゝ、喜々として作業する姿、こゝに協力助け合いが自然発生の形で表われていた事。この中から互のつながりが生れそうだ。今の図画は先生方すら頭のやめるものゝ一である。ましてやお母さん方において解らないのは無理からぬこと。スライドを使っての教育に、一々うなずきながら学習し、今でも話題になっている。

しかし問題もある。一人々々の問題意識に大きな開きがあることから出席する人が限られていること。学級生自体のつながり、仲間意識が生まれていないことだ。

今年度は先づ昨年度の反省を学校と学級生でじっくり話合いし、全家庭にアンケートを寄せてその中から、運営の方針を立てゝ発足した。

◎年間通して実施する。
但五月～十一月まで
毎月第二土曜日
十二月～四月まで
月三回位

◎テーマは学級生の話合の上で決定する。

すべて学校まかせの形から学級生も計画に参加する形を取上げることにより、学級生の問題意識を明確にし、学習意欲を高めるのでないかと期待している。歩みはのろくてもこの中から自主的な婦人活動が生れることを希い、共々研究して行きたいと思っている。

お知らせ

成人式の写真をまだもらわない人は至急公民館事務局までお越し下さい。